



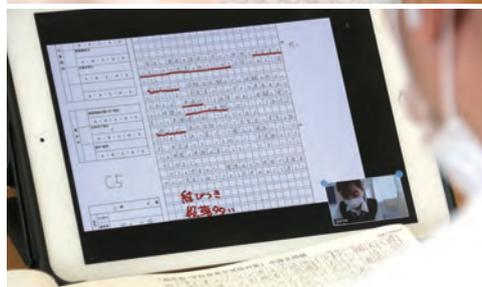
# 小論文合同学習会

学校や学科、環境が異なる生徒同士で、  
視点や考え方の多様性を学び、視野を広げる

近畿地区専門高校3校連携



写真左/今年度は、遠方の福岡県の高校も参加。地域や学科、環境が異なる学校の生徒が、オンラインで一堂に会した。普段接する同じ学校の生徒とは異なるバックグラウンドを持つ生徒との対話を通じて、新たな視点を獲得していく様子が見られた。



写真上/学習会当日は、班で意見を出し合っ小論文の構成を考えた後に、各自が小論文を作成。写真下/作成した小論文を送って読み合い、評価し合った。コメントをその場で書き込むなど、デジタルツールの利点を活用した活動を行った。

## どんな学び？

### 1 授業の内容は？

複数の異なる高校の生徒が、同じテーマで書いた互いの小論文について意見を交わすことで、テーマに対する考えを深め、論述力を高め合う活動です。

### 2 育成を目指す資質・能力は？

他者との対話を通じて自分の強みを発見し、その強みのかけ合わせによって、視野を広げ、自分の考えを表現できる力を身につけてほしいと考えています。

### 3 なぜ、この学びが必要？

同じ学校の生徒同士の対話では、物事の見方・考え方は偏りがちです。異なる専門性を持つ生徒との学びを通じて、それが広がることを期待しています。

## 「他校の生徒の小論文を読み、様々な論点に気づく」

生徒が、自分が書いた小論文を他の生徒と評価し合うことは、広い視野と、自分の考えを客観的に捉える力を育む上で有効な方法の一つです。そうした活動を、学校や学科、住む地域が異なる生徒同士で行えば、学習効果が一層高まるのではないかと考え、2015年度、京都府・京都市立京都工芸学院高校、兵庫県・私立神戸星城高校、奈良県・大和高田市立高田商業高校の3校が集まり、小論文合同学習会を始めました。

生徒は、他校の生徒との対話を通じて、実に多くのことを学びます。特に、学科が異なる生徒の視点や考え方に、大きな刺激を受けます。例えば、エネルギー問題をテーマにした小論文では、商業高校の生徒の多くが燃料の経済性に着目して論じていたのに対し、工業高校の生徒はエネルギー効率を中心に論を展開するなど、視点の違いが表れていました。他者の小論文を読み、意見を交わし合う中で、「そういう視点や考え方があるのか」と実感し、視野の広がりをもたらされています。

## 「言葉にしないと伝わらない。議論で磨かれていく発信力」

学習会では、他者との対話を通じて発信力を高める生徒の姿も見られます。ある年の学習会では、当初は積極的な生徒が議論をリードし、ほかの生徒は沈黙しがちでした。しかし、議論をリードする生徒が堂々と意見を述べる姿に、自分の考えを言葉にして明確に発信していかなければ、相手を納得させることはできないと気づいたのでしよう。遠慮がちにしていた生徒も、次第に積極的に発言するようになっていきました。

学習会は、参加校を増やしながらか、毎年実施してきました。20年度は、コロナ禍の影響で、オンラインによる1日での実施となり、今年度も同様の形式にしました。

今年度は、事前に全参加者が同じテーマで書いた小論文を読み合い、よいと思った小論文とその理由を、各自が発表し合うグループワークを行いました(図)。近畿地区のほか以上に多様な意見や考えが交わされました。「他校の生徒の意見を知って、視野が広がったと思います。議論の面白さも感じました」といった声も上がり、多くの気づきを得る生徒の姿が見られました。

図 「2021年度 小論文合同学習会」プログラム

開講式	主催者から挨拶と趣旨説明を行った。
講義①	アイデアの出し方や小論文の書き方などを教師が説明するとともに、グループワーク①～③の進め方として、小論文の読み方と評価基準を伝えた。
グループワーク①	生徒は4～6人から成る班に分かれ(以下、グループワークは同じメンバーで実施)、班のメンバーが事前に書いてきた小論文をその場で読み、その中からよいと思った作品とその理由を、班内で発表し合った。
グループワーク②	新たな小論文のテーマについて、まず個人で考えた後、その考えを持ち寄り班で議論し、小論文の構成案を作成した。
小論文作成	休憩後、グループワーク②で提示されたテーマで、各自が小論文を作成した。
講義②	グループワーク①で各班が評価し合った内容に対して、教師がフィードバックを行った。
グループワーク③	休憩後に各自で作成した小論文を、班のメンバーで読み合い、各自がよいと思った作品とその理由を発表し合った。
講義③	グループワーク③で各班が評価し合った内容に対して、教師がフィードバックを行った。
閉講式	主催者からまとめと振り返りを行った。

※有本先生提供資料を基に編集部で作成。

### お話を聞いた先生



京都府・京都市立京都工芸学院高校  
有本淳一  
ありもと・じゅんいち

教職歴26年。同校に赴任して6年目。進路指導主事。理科。



奈良県・大和高田市立高田商業高校  
大島利隆  
おおしま・としたか

教師歴21年。同校に赴任して21年目。進路指導主事。国語科。

### 2021年度 参加校

京都府・京都市立京都工芸学院高校、大阪府立今宮工科高校、兵庫県・私立神戸星城高校、奈良県・大和高田市立高田商業高校、福岡県・福岡市立博多工業高校、私立福岡女子商業高校

VIEWn-expressでは、「ウェブで見学 学びのnext」で、小論文合同学習会について、当日の様子や参加校の声も紹介!  
< 10月28日公開予定 >

VIEW n-express

検索

